

県内経済とくらしむき

長崎県県民生活環境部統計課

〔1〕おもな動き

【推計人口】 …… 3月

令和4年3月1日の推計人口 1,290,992人
世帯数 555,257世帯

参考：R2.10.1現在国勢調査総人口：1,312,317人、
世帯数：558,230世帯

1 推計人口

令和4年3月1日現在の推計人口は、1,290,992人で、前月(1,292,592)に比べ1,600人の減少となった。

市部では、大村市(18)の1市で増加し、長崎市(△439)、佐世保市(△416)、南島原市(△94)、平戸市(△73)、諫早市(△66)、壱岐市(△57)、対馬市(△54)、島原市(△52)、雲仙市(△52)、五島市(△51)、松浦市(△35)、西海市(△21)の12市で減少した。

郡部では、佐々町(1)の1町で増加し、長与町(△92)、川棚町(△41)、時津町(△37)、新上五島町(△18)、東彼杵町(△11)、波佐見町(△7)、小値賀町(△3)の7町で減少した。

自然動態は、出生数665人、死亡数1,631人で966人の減少、社会動態は、転入者数2,282人(県内転入を含む)、転出者2,916人(県内転出を含む)で、634人の減少となった。

2 世帯数

令和4年3月1日現在の世帯数は、555,257世帯で前月(555,804)に比べ547世帯の減少となった。

(注)

・異動人口推計=R2国勢調査確定数+住民基本台帳(転入、転出、出生、死亡)

【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】 …… 1月

1人当たり現金給与総額 241,968円
対前月比 52.2%減少
対前年同月比 3.5%減少

1 賃金

1月の常用労働者1人当たりの賃金をみると、現金給与総額は241,968円で、前月に比べ52.2%減少し、前年同月に比べ3.5%減少した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は240,958円で、前月に比べ4.2%減少し、前年同月に比べ3.5%減少した。

特別給与額は1,010円で、前年同月に比べ、253円減少した。

2 労働時間

1月の常用労働者1人当たりの労働時間をみると、総実労働時間は141.9時間で、前月に比べ7.2%減少し、前年同月に比べ0.8%増加した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は131.0時間で前月に比べ5.4%減少し、前年同月と比べ、0.6%増加した。

所定外労働時間数は10.9時間で、前月に比べ24.3%減少し、前年同月に比べ3.8%増加した。

3 雇用

1月の常用労働者数は213,456人で、前月に比べ、0.4%減少し、前年同月に比べ0.4%減少した。

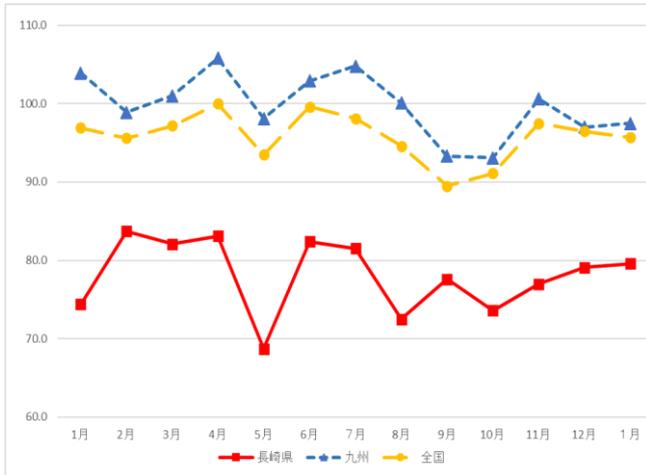
【鉱工業生産指数】…………… 1月

令和4年1月の鉱工業生産指数

(平成27年=100)

区分	季節調整指数		原指数	前年同月比(%)
	調整指数	前月比(%)		
長崎県	79.6	0.6	74.4	10.1
九州	97.5	0.5	91.4	△4.9
全国	95.7	△0.8	88.0	△0.5

鉱工業生産指数の推移【季節調整指数】



2022年1月の鉱工業生産指数は、季節調整指数が79.6で対前月比は0.6%の増、原指数は74.4で対前年同月比は10.1%の増となった。

業種別にみると、輸送機械工業、繊維工業など6業種が上昇し、電気機械工業、電子部品・デバイス工業、はん用・生産用機械工業など7業種が低下した。

○主な上昇業種

業種	前月比(%)	上昇に寄与した主な品目
輸送機械工業	58.6	新造船
繊維工業	11.6	ニット製下着・補整着・寝着類

○主な低下業種

業種	前月比(%)	低下に寄与した主な品目
電気機械工業	△39.4	交流発電機
電子部品・デバイス工業	△20.2	半導体集積回路
はん用・生産用機械工業	△16.3	蒸気タービンの部品・付属品

(注)前月比は季節調整指数の対前月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】…………… 2月

総合指数(R2=100)	100.4
対前月比(%)	+0.2
対前年同月比(%)	+0.5

長崎市の消費者物価総合指数は、2020年(令和2年)を100として、100.4である。

前月比0.2%の上昇で、主な上昇要因は「光熱・水道」の+1.5%、「教養娯楽」の+0.5%であり、主な下落要因は「家具・家事用品」の△1.1%、「保健医療」の△0.1%である。

前年同月比は、令和3年10月は+0.1%、11月は+0.2%、12月は+0.6%、1月は+0.3%と推移した後、2月は0.5%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は100.2で前月比0.2%の上昇であり、前年同月比は+0.3%であった。

(前月との比較)

△上昇した費目

光熱・水道	1.5%
被服及び履物	0.9%
教養娯楽	0.5%
食料	0.1%
交通・通信	0.1%
諸雑費	0.1%

▽同水準の費目

教育	±0.0%
----	-------

▽下落した費目

家具・家事用品	△1.1%
住居	△0.1%
保健医療	△0.1%

【家計(長崎市・勤労者世帯)】…………… 2月

消費支出(一世帯当たり)	276,749円
前月比	12,320円増(4.7%増)

令和4年2月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は276,749円で、前月比4.7%の増、前年同月比は3.9%の増であった。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は66.3%であった。

(注)「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。